

第3分科会「民間って？公立って？」～ライバルそしてパートナー～

【進行】青木 佳子（北区桐ヶ丘児童館）・鈴木 雅樹（墨田区江東橋児童館）

【参加】14名

鈴木 雄司氏（厚生労働省）にも話し合いに加わっていただきました。

「民間委託」「民設民営」「公設公営」etc...児童館の運営形態は様々。でもどこがどう違うの？民間の人、公立の人、それぞれ悩みや自慢話、訊いてみたいことなど語り合いませんか。他所の実態を知ること、自分の仕事の把握・理解そして自信にもつなげましょう！

●自己紹介

「それぞれの氏名・所属、この分科会に参加した理由や思いなどをひとことずつどうぞ。」

- ・2市合併、現在嘱託。公設民営へ向かっている。
- ・いま公営は力を十分発揮していると言えるか。ほんとうに「民営は悪」なのか。
- ・現在公設民営、身分は不安定。
- ・視野が狭かったのでいるんな館のようすを聞きたい。
- ・民設民営、勤務状況はきびしくなっている。
- ・公設公営、NPOに部分委託。予算削減で全面委託化になるのか気がかり。
- ・現在アルバイト、就職について考えている。公営と民営の違いなど知りたい。
- ・現在は公営だが民間委託の話も出ている。公営と民営どこまで共存できるか。
- ・公が民に働きかけるべき。民間が児童館をつくれるか考えたい。
- ・民間委託問題はこれからの児童館を考えるうえで不可欠。
- ・公営と民営の違い、なにがいちばん問題なのか。

●グループ討議

「ざっくばらんなところからはじめてみよう。愚痴でもOKです！！」

- ・異動があるせいもあるのか職員が無責任。ニーズの掘り起こしが苦手。（公）
 - ・学童クラブ5時まで！？公営がニーズを探りにいかないのはなぜ？
- 定員70名だが80名まで受けている。7：15まで。（民）
- ・利用率上げれば報奨金がある等の具体的な評価が必要ではないか。（公）
 - ・自分で井戸を掘らない人はいらないとされていてしまう現実がある（民）
 - ・学童にさんありき的にアピールしないと職員として生き残れない、保護者からの信頼は絶対不可欠。そんな中でやっている実状。（民）
 - ・10：30～19：30勤務。月額11万円。（民）
 - ・「民間って厳しい...」職員として長く続けるのは難しい。福利もない。（民）
 - ・委託化は利用者に不安感を与えている。（公）
 - ・ボトムアップができない。下からの意見の吸い上げは難しい実状がある。（公）
 - ・社会福祉協議会に委託（公務員は事務1名）。休暇なかなか取れない。他館との行事交流なし。（民）
 - ・臨時・嘱託職員多い。近隣自治体では民間委託の話も。現在、児童館のあり方を探る研究会がもたれている。（公）
 - ・公営は他館とのつながりが密、職員の交流も多く共同の行事も組みやすい。（公）
 - ・民間は行事や費用など柔軟に運営できるが、公営は制約が大きい。（公）
 - ・職員側からではなく、利用者側からみてどうか、という視点でもっと考える必要があるのでは。
 - ・民営では運営母体の特性（得意分野）を活かした施設運営ができる。その反面、合わない子が出る可能性も。（公）



グループ討議・ホワイトボードを使いながら



グループ討議・むこうのグループではどんな話が？

鈴木 雄司氏コメント

【推薦自治体】マネージメント：高根沢町

【杉並区】・45歳で勤奨対象。

・10年間で1000人退職。（希望失う人が増えたため）

「がんばれ40代、50代」

活性化する見通し

民間と共存する方法

厳しい圧力にも立ち向かう勇氣

第3者評価制度の必要性

【中野区】内部告発制度の導入

【鈴木講演レジメp.23より】**発展**の部分ができなければ児童館の明日はない。

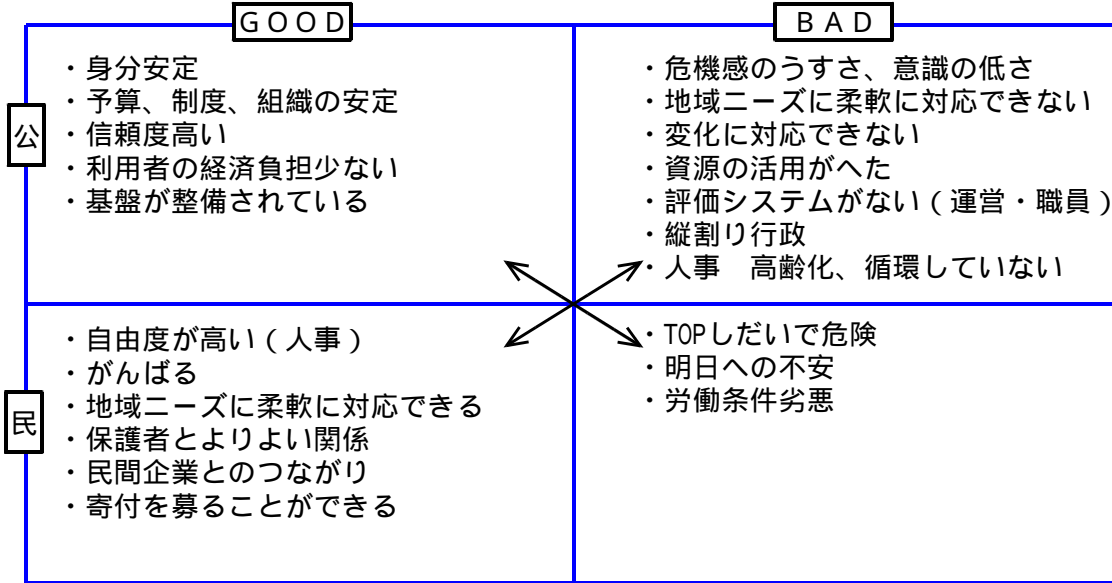
期待に応える形をとっていかなければならない。

一つの課題に向かって公民のいいところを吸い上げ、進めていく。

【社会保障費の割合】老人67% 子ども3%+教育9% その他30%

・3%を増やすことが必要と訴える人もいる。増やす努力をしよう。

具体的に公、民のGOOD・BADを上げていき、前向きになってみよう



【担当者より】

とにかく参加された方々みんなにたくさん語ってもらおう、と思っていたのですが、担当者が思っていた以上にみなさん語ってくださいました。休憩時間中も話し合いは続き、正味3時間にもわたって討議、しかも「もう終わり!？」と時間を忘れる程白熱。

アルバイトさんから館長さんまでいろんな立場の方のお話がうかがえたのも貴重でしたが、公営職員である担当者にとって、民間の方に参加していただけたことがとても嬉しかったです。担当者の準備不足で内容がいまひとつになってしまったことが心残り。今後このテーマ、もっと深めていきたいです。（鈴）

第3分科会 参加者名簿

No	所在地	氏名
1	福島県	立柳 聡
2	石川県	山本 康人
3	栃木県	見目 敦子
4	栃木県	羽石 優子
5	北区	青木 佳子
6	北区	的場 一生
7	墨田区	島津 和代
8	墨田区	鈴木 雅樹
9	多摩市	松崎 亜来子
10	中央区	富樫 美盛
11	中央区	宮澤 香織
12	調布市	栗原 尚恒
13	中野区	鈴木 すみ代
14	西東京市	大部 良江



第3分科会のホームページ【期間限定】

<http://www.asahi-net.or.jp/~hn8m-szk/03pre3/>